

野木町立小中学校校舎・屋内運動場の耐震化状況

平成25年3月1日現在

学校名	棟名	構造(※1)	階数	建築年月	延べ面積	二次診断(※2) 結果 Is値(※3)	補強後Is値	備考
友沼小学校	管理教室棟	RC造	3	S50.3	2,380㎡	0.45	0.75	H22耐震化済
	特別教室棟	RC造	2	S50.3	524㎡	0.43	0.95	H22耐震化済
	屋内運動場	S造	2	S53.2	831㎡	0.14	0.75	H23耐震化済
佐川野小学校	管理教室棟	RC造	3	S50.3	2,397㎡	0.48	0.76	H22耐震化済
	屋内運動場	S造	2	S54.1	842㎡	0.88		耐震補強不要(Is値0.7以上)
南赤塚小学校	教室棟	RC造	3	S49.3	2,611㎡	0.38	0.77	H22耐震化済
	管理教室棟	RC造	3	S55.3	1,770㎡	0.50	0.71	H22耐震化済
	屋内運動場	S造	1	S51.12	777㎡	0.80		耐震補強不要(Is値0.7以上)
野木中学校	屋内運動場 (旧体育館)	S造	2	S44.3	974㎡	0.47	1.13	H24耐震化済

この表に記載されていない建物については、新耐震基準(昭和57年以降建築)の建物であるため、耐震診断を実施していません。

※1 RC造 鉄筋コンクリート造 S造 鉄骨造

※2 二次診断…現場調査やコンクリート強度試験などにより耐震性を詳細に評価し、耐震化工事の方法を設計するために行ないます。

※3 Is値 建物の耐震性を判断するための数値(構造耐震指標)。値が大きいほど耐震性能が高い。

国土交通省では、安全の目安としてIs値を0.6以上としています。

なお、文部科学省では、学校としての特殊性と地域の避難場所としての機能を加味し、安全の目安をIs値0.7以上としています。